



『病気の予防/日本脳炎 ワクチンについて』

最近、「小児科へ小さい子どもさんが、風邪で受診されることが少なくなってきたのでは?」という話を聞きます。これは、Hibワクチンや肺炎球菌ワクチンを乳児の時期に接種されたことで、病気予防効果の現れと言えます。ワクチンができていない病気については、推奨されている回数を打つことで、多くは予防ができます。

「日本脳炎」は蚊を介して感染する病気ですが、ワクチンで予防できます。



[ワクチン接種方法]

第1期(3回接種)

- ① 初回(2回接種)：生後6ヵ月以上90ヵ月未満
(標準として3歳)
- ② 追加(1回接種)：初回接種後おおむね1年後
(標準として4歳)

第2期(1回接種)

9歳以上13歳未満 (標準として9歳)

また、一時期、中止されていた為、平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は、推奨されている回数を打つてみえない場合があります。平成23年にお知らせがあり、多くの方が接種されましたが、上記の年代に該当の方は、20歳未満までの間に公費で接種できます。まだ、されていない場合は、ぜひ、接種をお勧めします。

保護者の方は、他のワクチン含め、再度、母子手帳にて、打ち忘れなど無いか確認をしてみてください。接種についてのご不明な点などあれば、小児科までご相談下さいね。